

西脇市保育士等キャリアアップ研修（保育実践分野）

受講者感想（2021. 9. 3）

- 最初に多田先生から、子どもの心や身体が解放できるというのはどういうことか、またどのような触れ合いや活動をすればよいのか教えていただき、今まで心や身体を解放してということ考えたことがなかったので、新しい発見、考え方を学ぶことができました。他園の先生方がどのような保育を行っているのか聞くことも参考になりました。多田先生に教えていただいたこと、他園の先生方の保育を参考に実践していきたいと思いました。
- 自分で考えた活動や、子ども達と一緒に考えた活動に対してねらいや内容を深く考えることができました。他園の先生方から色々な活動事例の発表を聞き、年齢ごとにどのようなところを伸ばしているのか、また、どのようなねらいをもって取り組んでいるのかを知ることができて勉強になりました。
- 多田先生の話聞き、身体を使う遊びは運動遊びだけではなく、日常の中にもあるのだと改めて感じました。喜びを表現する時に、自然と拍手をしたり、ジャンプをしたりしているという話があり、子ども達は色々な姿で身体を使用しているのだと思い、これからは私自身もそういった場面へと目を向けたいと思いました。また、心と身体は繋がっており、保育者が一緒になって楽しみながら子ども達と活動していくと、もっと豊かな保育になるのだと気付くことができました。今回、内容とねらいを考えましたが、一つひとつの活動には意味があるので、今後も意識して保育を行い、子ども達の心を豊かにしたいと思いました。
- 最初に体を動かすことでリラックスし、また隣の先生と話をする楽しい時間もあり、保育の導入のようでよかったです。先生から「大事にしていることは？」「その後は、家でもやっていた？」等問いかけがあり、次につなげる保育としてはどうだったのかと改めて思い、子ども達にその後の話をしてみたらよかったと反省もあり、勉強にもなりました。
- 身体を動かすと心も育っていく「心と身体は一体」だと改めて感じました。子どもが身体を動かしたり触れたりして心地よいことを知り、身体を動かさず心はずむことを感じ、真剣に活動して没頭していく、これらのことが成長とともに育っていくと知り、勉強になりました。他園の活動も今後の保育に活かせたらと思います。
- 子どもが身体を使って遊ぶ遊びを考えると、どうしても運動遊びが思いつき、活動に取り入れると発達面やルール、約束等を意識してしまいます。頭だけではなく身体で分かる環境づくりが大切だと知りました。身体を動かすことで、やってみよう！と前向きな気持ちが出てきて、前向きになると、ワクワクしたりドキドキしたりと心につながるのだと感じました。3歳児からは、没頭して遊ぶことが楽しいという気持ちが出てくると聞き、活動や遊びの中に没頭できるものを取り入れていくことが大切だと改めて感じました。
- 子どもと思いっきり遊ぶということはなかなか難しいと感じていましたが、保育者が楽しいと表現し身体を動かすことで子ども達に自然と伝わっていくことを学んだので、子どもの心と身体をよく見て楽しく保育をしていきたいと思いました。